

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)		-	-
		百貨店（店舗企画）	・売場改装により新しい客の動きもみられるので、引き続きイベント等で盛り上げ、集客を強化する。
		コンビニ（経営者）	・年末、年始に向かって客数、客単価が増える。
		衣料品専門店（経営者）	・何事もなければ、落ちた分は上がるとみている。
		住宅販売会社（営業担当）	・消費税の引上げが表明されたことで、駆け込み需要が期待できる。
		コンビニ（代表者）	・好調な観光景気は今後とも続いていくと判断する。
		衣料品専門店（経営者）	・今月は月初めの台風の影響で悪い状況が続いていたが、月の後半にはどうか持ち直した感がある。景気の良い状況がまだ見えておらず、まだまだ様子見の感じがする。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	・年末の繁忙期に向かうが、例年と比べ販売量などが大きく変わる要因は特に見当たらない。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光関連は相変わらず好調のようだが、どの業種も人手不足と、働き方改革の対応に追われている。賃金の上昇は異常である。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現段階の予約状況から推測される今後2～3か月後の客室稼働率は今月と同様に前年同月実績を下回る見込みである。
		観光型ホテル（代表取締役）	・予約状況はほぼ変わらない。
		旅行代理店（マネージャー）	・年末年始の間合せも増えつつあるが、需要が伸びる要素は今のところ特に見当たらない。
		通信会社（営業担当）	・新商品の話題性もあり、年内は現状を維持できると考えている。
		その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・予約の先行き状況は前年よりやや良いが、旅行代理店からの受注が減少傾向にあり、総合的には前年並みで落ち着く見込みである。
	住宅販売会社（代表取締役）	・建築相談は増えているが、当社の受注能力を超えており、とても全てに対応できる状況ではない。相談案件を選択しながらの受注体制とならざるを得ない。	
		-	-
	×	商店街（代表者）	・商店街エリアは、小規模店の集合体であるので、現時点では厳しい状況である。特に衣料品等の売上が落ちているという話をよく耳にする。小さい店が閉店すると、次に入ってくるのはほとんど立ち飲み屋になってきており、街の形態が変わりつつあるという話もしている。
企業 動向 関連  (沖縄)		輸送業（経営企画室）	・消費税の引上げ前の駆け込み需要という部分で、かなり消費が激しくなるとみられる。
		輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島は、観光客対応のホテルや量販店等の民間工事が多く、先々も続く様子である。宮古島の陸上自衛隊関連の工事も本格化しており、生コンの出荷は増大しており今後も続く。アスファルトの出荷量も上向いていくものと予想される。
		食料品製造業（総務）	・2～3か月先は年末に向けての季節要因から確実に良くなるが、季節要因を除いた前年同期間と比較すると、それほど変わらないようにみられる。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・これまで同様、民間工事向けは増加、公共工事向けは減少で、全体で横ばいの見通しである。
		広告代理店（営業担当）	・民間企業の広告宣伝費は、新規で出稿する広告主が増加する一方で、従来の広告主の一部が県外企業との競争激化に伴い、発注額が減少する傾向にあることから、全体としては大きく変わらないと感じている。
		会計事務所（所長）	・今年は週末の台風によりサービス業の集客が鈍化しており、収益悪化となっている。
		建設業（経営者）	・現在の相談及び引き合い件数が減少している。
	×	-	-
雇用 関連  (沖縄)		-	-
		*	*
		人材派遣会社（総務担当）	・年末年始に向け景気は良い状態が続くが、例年の動きの範囲にとどまるとみられる。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	・消費税が上がる前に購入するべきものを検討している。
		学校〔大学〕（就職担当）	・新卒求人の動きは県内中小企業を中心としてシフトしているが、景気の上向きを感じさせるような状況ではない。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・ほぼ毎年年末に近づくと求人数が減少傾向にある。	

		<p>求人情報誌製作会社 (編集室)</p>	<p>・ 9月に大型商業施設の合同募集が10店舗、10月にも他の大型商業施設の合同募集が29店舗あり若干上乘せされたが、毎年12月は極端に件数が落ちているので、今年も同じように減少するとみられる。ただ、来年1月は企業の求人意欲が高くなるので大幅に増加するとみられる。</p>
	x	-	-